

令和5年度 第2回大和町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和5年11月22日（水）午後1時30分～午後2時40分

場 所：大和町役場 3階 302会議室

出席者：浅野喜高会長、徳永幸之委員、中村信男委員、若生 昇委員、小川 実委員、
早坂秀男委員、高橋高委員、佐藤勝志委員、堀籠美江子委員、植松晋一委員、
宮野大樹委員、佐藤剛委員、二瓶智樹委員、亀谷裕委員、 出席委員14人

欠席者：長尾勝吾委員、横田壮一郎委員、小林正実委員、長谷部宗俊委員、

事務局：まちづくり政策課 江本課長、菅野、齋

関係者：(株)協和コンサルタンツ 及川氏、田部氏、高橋氏

1. 開 会 進行 江本課長

4名欠席だが、過半数出席のため、会議が成立する旨報告。なお、関係者として地域公共交通会計画策定支援業務を依頼している協和コンサルタンツも出席をしている。

2. あいさつ

第2回大和町地域公共交通会議に、ご多用の中ご出席いただきありがとうございます。また、日頃からまちづくりの推進にご理解とご協力いただきありがとうございます。今年は猛暑が続き農作物への影響や熊の出没が多く町内で既に24頭確保しており、昨年の2倍以上となっております。皆様方も山に入る際は気を付けていただきたいと思います。また、週末には寒さも一段と厳しくなり、雪が降るかもしれない状況にありますので、皆様方も感染症対策はもちろんのこと健康管理には十分留意しご活躍をしていただきたいと思います。と思っています。

本日は議案1、議案2、報告事項が1点あります。皆様からの慎重なご審議ご意見をいただければと思います。よろしくお願いたします。

3. 議 事

設置要綱第7条の規定により、浅野副町長（会長）が議長となり、議事を進行。

議案第1号 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費補助金の交付申請について

（資料議案第1号参照）13：35～13：38 事務局（菅野）より説明

特に質疑なし 議案第1号 【原案どおり承認】

議案第 2 号 大和町地域公共交通計画の素案について

(資料議案第 2 号参照) 13 : 40~14 : 05 (菅野) より説明

質疑

徳永委員 : ①12 ページに関連して、朝仕事へ行くとき渋滞に巻き込まれることがある。

工業団地の立地が進む一方で渋滞問題があり、これに対して何か対策は考えているか。地域公共交通計画の中には輸送資源の総動員という言葉もある。既に、送迎バスを導入している企業もあるが、町として共同の通勤バスを運行する等の検討をしてみてもどうか。

②21~23 ページ、町民バスを行きは利用しているが、帰りは利用していないことが分かる。例えば黒川高校は約 20 人が行きに利用し、帰りは約 9 人のみである。宮城大学にも同様の傾向がみられ、時間割と比較すると、第 2 便と第 8 便は時間が合うが、それ以外の便は対応していないことも関係していると考えられる。

③21 ページ、町民バスの月別利用者が 4 月~6 月にかけて増加しているのはなぜか。一般的に 4 月から下がる傾向が多いが、例えば、4 月は新入生に対するの周知不足等が考えられるのか。

④28 ページ、デマンドタクシーの利用者について、宮床が少ないのはなぜか。また、資料 1 の 2 ページをみると、もみじ・杜の丘の利用実績があまりないように思う。導入目的とマッチングしているのか検証が必要と考える。

⑤資料 1 の 3 ページ、デマンドタクシーの目的別利用者について、行きは病院・帰りは商業施設が多く、1 地点の往復ではなく別の場所にも寄る使い方をされている。その際に、吉岡地区内の移動に関して不便が生じていないのかなど吉岡地区内の移動について考える必要があるのでは。

事務局 : ①渋滞に関しては、企業がタクシー事業者に委託して送迎バスを出しているという話も伺っており、工業団地については新たな企業誘致もあることから検討材料として考えていきたい。

②町民バスの帰りの利用については、部活動等で時間が一定ではないことから、時間帯をずらすなど帰りの便の利便性を良くするような検討を進めていきたい。宮城大学の時間割についても、朝の行きと帰りについては時間を把握していたが、それ以外の時間帯についても課題として今後検討していきたい。

③月別の利用者に関しては、毎年 3 月に黒川高校へ伺い、新入生向けのチラシ配布の依頼していることから周知不足というよりは、梅雨時期の天候が影響していると考えられる。再度、過去のデータを分析したい。

④宮床の利用者については、もみじヶ丘・杜の丘も含まれており若年層が多いことから、吉岡地区と同じ人口動態となっているため、利用者が少ない

ことが考えられる。旧宮床のみの数字はもう少し高くなると思うので、旧宮床・もみじヶ丘・杜の丘と分けて掲載するののかも検討していきたい。もみじヶ丘・杜の丘方面の利用者については、事務局としても思っていたより利用者が少ない現状である。特にもみじヶ丘は団塊世代の方が多く、今後の免許返納後には杜の丘地区の商業施設へのニーズがあると見込んでいること、宮床地区も吉岡地区より杜の丘地区の方が近いことからニーズがあると見込んでいたが、利用者数は少ない状況になっている。さらに検証を行っていきたい。

⑤デマンドタクシーの利用のされ方として、行きは黒川病院または吉岡まほろばクリニック、帰りはヤマザワまたはウジエスーパーで買い物をされてから帰る方が多い傾向にある。隣接しているとはいえ、吉岡地区内の移動に関して不便が生じていないのか等について検証不足であるので、検証していきたい。

徳永委員：吉岡地区内で歩くことが大変と感じる方について課題となってくるのではと思う。

もう1点、基本方針1に「ICT・AIの活用」とあり、時代の流れはそうだが、計画期間内でどこまでやるのか、やるとなるとかなり費用もかかることなので、この言葉を出さずに利便性向上としても良いと思う。

事務局：言葉だけが走る可能性もあるので、ネット予約や予約時間、現在の定時路線が良いのかも含めて検討していきたいと考えているので、どのように記載するかも改めて考えたい。

議案第2号 【原案どおり承認】

4. 報告

1. 令和5年度上半期町民バス・デマンドタクシーの運行状況について

(資料1参照) 14:20~14:55 (菅野) より説明

質疑

徳永委員：3ページ、第1便についてほとんど利用されていないが、この状態がずっと続いているのなら、見直しも検討する必要があるのでは。

事務局：第1便はほとんど利用されていない。以前、吉岡地区から鶴巣地区の奥地へ移動し、他のバスに乗り換えて利府高校へ通っている方がいたことから、運行をしていたが、ニーズの把握をしつつどのような形であるべきか検討していきたい。

徳永委員：運行委託料の契約は、走行した分だけなのか、便の設定をしていることで費用が発生しているのか。

事務局：運行本数・平均距離・時間貸し等の場合で計算を行い、実際の利用率と走行距離とタクシー料金を踏まえ、実績に合わせてこの程度が妥当という積算をして委託をしている。稼働距離・運行便数を基に事務局で積算を行っている。

中村委員：前年度までは、利府高校への通学で利用されていた。6：50に乗車し、7：20ころに降車して、他のバスへ乗り継ぎをしていた。1便には、仕事から帰る人がたまに利用している。たとえ、利用者がいないからと便数を減らしても、1日あたりの契約であるため、組み入れておいた方がいいのでは。

事務局：運行事業者の意向と利用者ニーズを確認しながら検討していきたい。

中村委員：鶴巢便、過去は黒川高校に通学する生徒が利用していた。今は親が送迎している状況である。8：00前に黒川高校前に到着できる便があることをPRすれば、利用してもらえるのではと思う。

事務局：時間帯によっては利便性があると思うのでPRしていきたい。

若生委員：公共交通の冊子やチラシを配布しており、十分に周知をしていると思うが、認知度が低いのはなぜなのか。

事務局：4月にチラシ、6～8月頃に総合交通ブックを配布しており、交通ブックは広告費で作成しており町の費用はかかっていない。周知不足が原因なのかは計り知れないところはあるが、引き続き周知を図りつつ、利便性を向上し、利用促進を図っていきたい。

徳永委員：学生にバス時刻など調べさせようとする、紙媒体の時刻表が読めず、特に乗り換えは分からない。ネットで検索すると全部出てくることに慣れており、紙媒体の時刻表を見たことがない。例えば、通学相談会や個別相談会等を行ってみてはどうか。

事務局：現在、デマンドは電話予約だが、高校生や大学生はネット予約のほうが良いと思うので併せて検討していきたい。

その他

事務局：11月7日の朝、大和町バスターミナルで町民バスが接触事故を起こしたので報告したい。バスターミナルの備品破損、バス車両のフロントガラス破損をした。運転手も負傷し入院をしていたが本日退院している。バスの修繕は完了して、通常通り運行している。

宮野委員：事故は把握しているが、退院と初めて聞いた。町へ報告が来たということで良いか。

事務局：本日、町に連絡をいただいている。

5. 閉会 14：40